

# 【小施策評価(平成30年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	スポーツ推進課	
施策	13	スポーツの推進	評価 責任者	壽 俊行	内線 6400
小施策	13-4	プロスポーツ等との連携	評価 シート 作成者	吉田 金一	内線 6401

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
本市をホームタウンとするプロスポーツのチームの活躍は、まちの活性化、スポーツ人口の拡大など、さまざまな効果が期待できるため、市民の関心を高めるさまざまな施策を講じる必要がある。		市民のスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを通じた地域活性化を目指して、プロやプロを目指すチームとの連携を図る。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民 プロスポーツ団体等		スポーツへの関心が高まる。 優勝するなど、市民のスポーツへの関心が高まるような成績を残す。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価							
指標	単位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析						
指標① プロチーム等のチーム会員数	人	↗	当初値 (H25) 2,177		R1目標値 14,000	R6目標値 24,000	・プロスポーツチームが自立した運営を行うことができるよう支援した。	⇒	・試合会場や練習施設の優先利用や、施設使用料の軽減を行ったこと。		
						<p>・J3, Bリーグともに会員数が減少している。</p>			<p>・成績が伸び悩んだことによる応援意欲の低下。</p>		
問題点			⇒			問題の要因分析					
指標② プロチームが市事業を受託した件数	件	↗	当初値 (H30) 0		R1目標値 —	R6目標値 4	・プロスポーツチームが市のスポーツ推進事業を受託した実績がない。(市として当該事業を実施していない。)	⇒	・プロスポーツへの支援が施設使用料の減免や施設の優先利用にとどまっているため。		
						<p>※R2年度からの事業実施を目指しているため、R1目標値は設定していない。</p>			<p>・成績が伸び悩んだことによる応援意欲の低下。</p>		
問題点			⇒			問題の要因分析					

## 今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 練習環境の確保・支援</li> <li>★ ホームゲームの開催支援</li> <li>★ 広報活動による支援</li> </ul>	
☆1 プロスポーツ団体を受託者としたスポーツ増進事業及びプロスポーツ支援事業を実施する。	